

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成30年8月22日

計画の名称	新世紀岡崎 浄化循環のみち下水道							重点配分対象の該当				
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度 (3年間)		交付対象	愛知県 岡崎市								
計画の目標	下水道の持続可能な整備を行い、安全・安心、快適な暮らしの実現及び良好な環境を創造する。											
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率を86.7%（H26末予定）から88.3%（H29末）へ増加させる。 ②緊急老朽化対策事業の進捗を0%（H29当初）から100%（H29末）へ増加させる。											
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考		
							当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)			
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）							86.8%	88.2%	88.4%	上段（赤）：実績		
							86.7%	88.2%	88.3%	下段（黒）：計画		
② 緊急老朽化対策事業の進捗率 緊急老朽化対策事業を実施した延長（km）/緊急老朽化対策事業を実施する延長（km）							-	-	100%			
							-	-	100%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,357 百万円	A	2,357 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進の割合 C / (A+B+C)	0.00%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
有識者による評価を実施	平成30年2月
	公表の方法
	岡崎市ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 下水道事業				直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H27	H28	H29	H30	H31				
A07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	汚水	新設	矢作川処理区(未普及)	汚水管 φ75~350mm L=18km 汚水管 φ75~350mm L=17km	岡崎市						2,261			
A07-002	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	合流	改築	矢作川処理区(老朽施設)	老朽管改築 L=1km 老朽管改築 L=1km	岡崎市						96			
												合計	2,357						

B 効果促進事業(該当なし)

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H27	H28	H29	H30	H31				

C 効果促進事業(該当なし)

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H27	H28	H29	H30	H31				

D 効果促進事業(該当なし)

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H27	H28	H29	H30	H31				

番号	一体的に実施することにより期待される効果(該当なし)															備考
----	----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

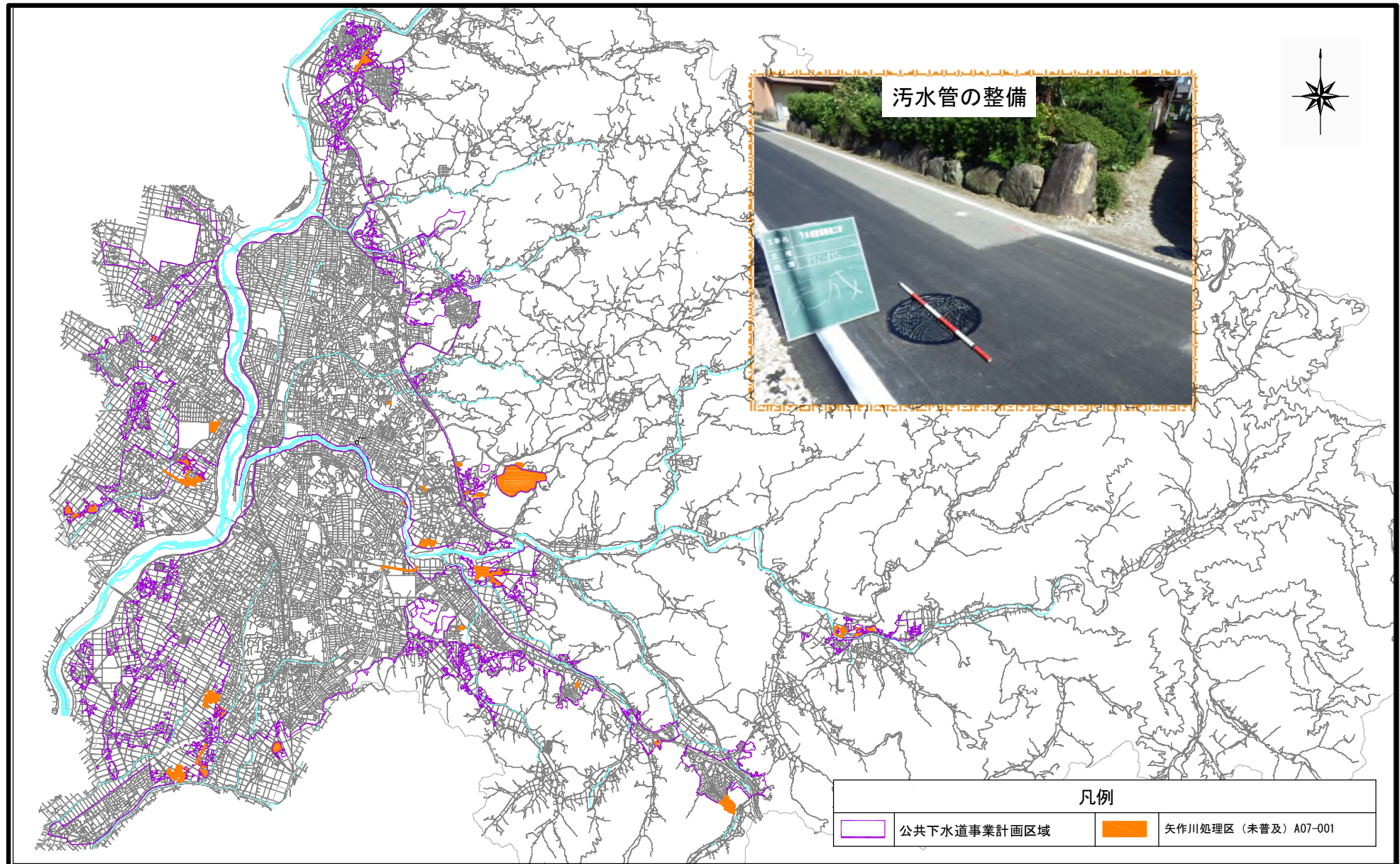
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 効率的な下水道整備により、下水道処理人口普及率の最終目標を達成し、良好な環境整備を構築することに寄与した。 下水道管の改築・更新を推進し、機能確保や道路陥没による二次災害の予防・保全に寄与した。 														
II 定量的指標の達成状況	指標①(下水道 処理人口普及 率)	最終目標値	88.3%	目標値と実績値 に差が出た要因	より一層の効率的な整備を図るため、人口密集箇所を優先的に行うと共に、整備コストを抑えるため積極的にクイックプロジェクトを採用し、より多くの下水道整備ができた。											
		最終実績値	88.4%													
	指標②(緊急老 朽化対策事業の 進捗率)	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因												
		最終実績値	100%													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		特になし														

3. 特記事項(今後の方針等)

今後は、未普及解消を重点計画に位置づけ、少子高齢化による社会経済状況の変化に対応するため、より一層の効率的な整備に努め、持続可能な汚水処理を行う。加えて、下水道接続率を向上させるため、未接続者への個別訪問等を行い、公衆衛生の向上及び公共水域等の水質保全を図る。

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1	新世紀岡崎 浄化循環のみち下水道	交付対象	岡崎市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)			



水の安全・安心基盤整備

計画の名称	新世紀岡崎 浄化循環のみち下水道	交付対象	岡崎市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)		

